

(第5号議案) 平成30年度事業計画(案)

(基本方針)

平成30年度(平成30年10月から翌年9月)の我が国経済を展望してみますと、長期間続く景気の拡大局面も、国外での不安要因を受け、不確実な情勢が強まるものと想定されます。

国内経済は、戦後最長に迫る景気拡大が続いていますが、変調も見え始めています。東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて準備活動が加速することはプラス要因ですが、深刻化する人手不足に加えて、原油の値上がりに伴う物価の上昇、相次いだ自然災害の悪影響が懸念されるだけでなく、米国の保護主義的な通商政策による貿易摩擦の影響が今後広がってくる事が予想されます。米国は、「自国第一主義」に基づき、多国間の貿易取り決めではなく、圧倒的な経済力・政治力を背景に個別に交易条件の改善を迫るといった姿勢を強めています。また、米国に次ぐ大国に成長した中国とは、まさに全面的な貿易戦争に突入した感があり、その影響は、両国のみならず、日本を含めた全世界に広がる様相を呈しています。日本に対しても、物品貿易協定(TAG)に基づく協議を通じて、大幅な譲歩を求めてくる事が予想されます。

こうしたなか、国内の政治・社会情勢に目を向けますと、憲法改正の発議に注目が集まる一方で、高齢化に伴う社会保障制度の再構築、財政の健全化へのロードマップ、近年多発する自然災害対策など、喫緊の重要課題に対する取り組みに遅れが感じられます。また、地方から都会への人口流入は止まらず、地方の疲弊は極めて深刻な状況にあります。政治的にも、経済的にも安定している現在、「政治の信頼を取り戻す」ということも含め、避けては通れない痛みを伴う問題に果敢に取り組んでいく姿勢が求められています。

さて、こうした状況の下、山梨経済同友会の平成30年度の活動を考えてみます。

山梨県では、未来を大きく変える可能性を秘めるリニア中央新幹線の工事が進んでおり、新駅周辺の開発のあり方を示すリニア駅周辺整備基本計画は今年度末を目指して策定が進められています。また、静岡・東海方面をつなぐ中部横断自動車道は、一部区間を除き完成し、供用区間が広がります。検討が続いている総合球技場についても、今年度末に基本計画がまとまる予定です。そして、9月には、富士山の麓と5合目を結ぶ登山鉄道について県が整備の可否を協議する検討会を設けることが表明されました。いずれも交流人口の増加への期待を担うものですが、どう有効活用していくか、地域の活

性化につなげていくか、叡智を集めていくことが望まれます。

こうした将来に期待を抱かせるプロジェクトが見られる一方で、「地方が抱える課題」も山積しています。地方創生を目指し、行政を中心に積極的に事業が展開されていますが、出生率の向上、人口流出の歯止めには、長期の持続的な取り組みが必要とされ、短期間に目に見える形で効果を求めることは、厳しい面もあります。

ただし、よく言われるように、「ピンチ」は見方を変えれば「チャンス」です。旧来のやり方では克服できなかった課題について、発想を変えて成功に導く好機であると認識し、過去の経験則に縛られない取り組みを試みるチャンスが到来している、と見ることもできます。

山梨の明るい未来を実現するためには、若者が地元に着し、しがらみにとらわれずに、自らの発想を基に自由にまちづくりを進めていく希望や意欲を持てる県にすることが求められています。来年2月に誕生する新知事にも、こうした舵取りが期待されています。

山梨経済同友会は、地域の発展に責任を負う経営者の組織であります。地域のリーダーの一人として、こうした輝ける未来の実現に向けて、行政や大学、地域の発展を願う諸団体と協力し、地域の活性化に積極的に取り組んでいくことが求められています。

同友会では、今年度の具体的な取り組みとして、山梨リニューアル委員会において、富士山世界遺産登録に関する講演会、県内周遊型観光促進に向けた活動を、山梨創生委員会において高校・大学への社会人講師派遣授業等を実施します。また、組織運営委員会において、ホームページコンテンツへの会員参加の促進、首長との意見交換の継続・深化、会員増強活動等を積極的に行っていくほか、新DCTP会議では、女性の活躍や高齢化・人口減少社会に備えた街づくりに関する報告を取りまとめまいります。

委員会(部会)

●山梨リニューアル委員会

金澤悟委員長、田淵幸弘幹事

◆相談役 入倉 要、長澤重俊

「リニア中央新幹線開業」「富士山世界遺産登録」を活用または連携させて山梨県全体の活性化につなげる為に、長期的な視野を持ちつつ、タイムリーな情報収集及び提案活動を展開する

□	リニア部会 (志村浩男部会長、小澤健太郎副部会長) 8年後となるリニア開業に向けて、リニア新山梨駅の周辺整備計画および二次交通整備について重点的に取り組む
□	富士山部会 (原田由起彦部会長、渡邊良孝・三浦秀行副部会長) 富士山世界遺産効果を山梨県全体に広めるための課題を取りまとめる

●山梨創生委員会

清水一彦委員長、伊藤祐寛幹事

◆相談役 望月英雄、高野孫左衛門、入倉要

人口減少問題への取り組みとして、山梨県内の大学・高校との連携事業を更に進化させる

□	次世代育英部会 (饗場紀仁部会長、望月幸徳副部会長) 山梨英和・甲斐清和高校等に社会人派遣講師事業を実施する
□	産学連携部会 (井上久仁部会長、豊前貴子・丸茂智史副部会長) 継続事業である山梨県立大学との連携事業の見直しを進めるとともに、山梨学院大学はじめ、他の県内大学との新たな連携事業構築を進める

●組織運営委員会

上原伊三男委員長、宮本秀憲幹事

◆相談役 望月英雄、入倉要

会員の募集拡大や親睦交流および勉強の機会を提供するとともに、行政や他団体との連携事業の窓口として活動を展開する

□	山梨ネットワーク部会 (齊藤基樹部会長、清水栄一副部会長) ホームページのリニューアルに取り組み、利便性の向上を図り、山梨ブランドの発信力を強化する
(※)	運営部会 (齊藤勇介部会長、伴野公亮・長谷部条副部会長) 首長、マスコミ等との意見交換、他団体との連携事業に加え、会員拡大・交流事業を実施する

●新DCTP会議

長江敬座長、繁尾明彦幹事長

◆相談役 入倉 要、長澤重俊

(※)	20年後の山梨&タイムリーな問題に対して対応する 「女性活躍に向けた支障事例と解決策」の取り纏め、高齢化・人口減少社会に備えた街づくりに向けた提言
-----	--

(※)運営部会、新DCTP会議への所属は、改めて参加のご協力をお願いしたいと存じます